

令和4年度

室蘭港浮棧橋上架修理工事仕様書

主要件名

構造	鋼製・箱型
全長	29.00メートル
全幅	4.00メートル
全高	1.45メートル
喫水	0.55メートル

## 施工用件

1. 工事は、最善の方法により丁寧且つ高所・閉所・危険作業等に関しては、十分に人員を配置し安全に施工すること。
2. 工事を施工する際に付帯する諸材料、労力、機器具、電力等は仕様書に支給する旨、明記してあるものを除き、すべて請負人（以下甲とする）の負担とする。
3. 甲は、工事施工のため取り壊し又は汚損した箇所は、工事監督員（以下乙とする）の指示又は承認を受けて現状に修復すること。
4. 甲は、関係官庁等の検査を受ける場合（受ける必要が生じた場合も含む）は、工事の行程に応じたの準備（諸計測及び検査等を含む）及び関係申請手続き等を行うこと。
5. 甲は、乙が要求する機器類の諸計測（絶縁抵抗試験を含む）等を実施すること。
6. 甲は、工事期間中において各検査及び試運転を実施する際、その準備が乗組員によって出来ない場合は乙と打ち合わせの上、甲の負担において準備等を行うこと。
7. 工事期間中に、乗組員によって各検査及び試運転を実施する際も前項を準用する。
8. 第6項及び第7項の各検査及び試運転を実施する際、甲は技術者及び作業員を立ち合わせる事。
9. 甲は、津波・地震・荒天・火災・その他の風水害や災害等において適切な保安処置を講ずるものとし、この保安処置に関し乙から要求があった場合は、これに応ずること。
10. 甲は、工事期間中における消費のあるもの燃料、水、各機器作動油、ロープ、防舷材等の全てに対し、乙の協議及び承認において用意し指示に従うものとする。
11. 工事の施工にあたっては、乙の指定する保管すべき物品及び保管場所を明記した保管書を提出するものとする。
12. 工事の施工前にあたっては、全工程及び各作業日毎の工程表を提出し、乙の承認を受けることとする。
13. その他、本仕様書に明記していない事項又は疑義が生じた場合は、乙と協議しその指示に従うものとする。

令和4年度  
室蘭港浮棧橋上架修理工事仕様書

第 1. 浮棧橋取外上架工事

工期は、着工の日から30日間までとし、浮棧橋係留錨鎖・ロープ等を取外し、作業船を使用して当該造船所まで曳航し上架（入渠）すること。  
尚、浮棧橋沖側の錨鎖については、復旧時再使用することから浮き球等を取付け、復旧を容易とする工夫をし、フェンダー及び甲板艀装品については、上架後取外し整備塗装終了後まで当該造船所側で保管し下架までに復旧すること。

第 2. 船体水洗い（327.7㎡）

上架中、ジェットポンプを使用し浮棧橋を清水で水洗いし、浮棧橋の付着物を除去すること。海洋生物等の廃棄物を適切に処分すること。

第 3. 保護アルミ板取替

浮棧橋にある保護アルミ板（4F・18枚）を塗装前に取り外し塗装終了後、十分に乾燥したのを確認したのち新替すること。

交換部品	セメントパテ	2 kg
	船底保護アルミ板 4F	18枚

第 4. 船体不良箇所溶接修理工事

船体老朽化による錆の穴あき・破断等が塗装前工事により判明する事から、溶接修理し現状復旧する事。

第 5. 門扉用電動ウインチ分解整備

門扉用電動ウインチを分解整備し、モーター乾燥の上復旧すること。ステンレスワイヤー（8mm）を新替し、巻き取り状態を良好な状態に調整復旧すること。歩み用の被覆ワイヤー（10mm）2本を新替し、強度、巻き上げ時の状態が良好であることを、検査員と確認すること。

交換部品	ステンレスワイヤー 8mm	14m	
		片側コース付き	1本
	ステンレス被覆ワイヤー 10mm	4.2m	
		両側コース付き	2本

第 6. 錆落とし防錆塗装工事（廃棄物処理を含む）

1. 船底外板（152.3㎡ ダメージ30%）

前処理	サンダー掛け	45.7㎡	1回
下地処理	エピコンジックリッチプライマー	45.7㎡	1回

	錆止塗装	A/C CMP	45.7m <sup>2</sup>	1回
	現色塗装	シーテナー7 レッドブラウン	152.3m <sup>2</sup>	1回
2.	船側外板 (59.4m <sup>2</sup> ダメージ30%)			
	前処理	サンダー掛け	17.8m <sup>2</sup>	1回
	下地処理	エピコンジンクリッチプライマー	17.8m <sup>2</sup>	1回
	錆止塗装	A/C CMP	17.8m <sup>2</sup>	1回
	現色塗装	アクリ800 白	59.4m <sup>2</sup>	1回
3.	上甲板 (116m <sup>2</sup> ダメージ30%) (滑り止め用の珪砂を全面に塗布すること)			
	前処理	サンダー掛け	34.8m <sup>2</sup>	1回
	下地処理	エピコンジンクリッチプライマー	34.8m <sup>2</sup>	1回
	錆止塗装	A/C CMP	34.8m <sup>2</sup>	1回
	現色塗装	アクリ800 緑	116m <sup>2</sup>	1回
4.	甲板構造物 (55m <sup>2</sup> ダメージ30%) (ボラード・ハッチ・転落防止ブルワーク・乗船用階段・収納箱を含む)			
	前処理	サンダー掛け	16.5m <sup>2</sup>	1回
	下地処理	エピコンジンクリッチプライマー	16.5m <sup>2</sup>	1回
	錆止塗装	A/C CMP	16.5m <sup>2</sup>	1回
	現色塗装	アクリ800 白	55m <sup>2</sup>	1回
5.	警備用フェンス (72m <sup>2</sup> ダメージ30%)			
	前処理	サンダー掛け	21.6m <sup>2</sup>	1回
	下地処理	エピコンジンクリッチプライマー	21.6m <sup>2</sup>	1回
	錆止塗装	A/C CMP	21.6m <sup>2</sup>	1回
	現色塗装	アクリ800 白	72m <sup>2</sup>	1回

6. 廃棄物処理  
塗装前工事で生じた鉄くず、廃品、余剰塗料等適切に処理すること。

#### 第 7. 浮棧橋下架取付工事

浮棧橋を下架後、作業船において所定の場所まで曳航し、錨鎖・ロープ等による調整を行い固定し現状の状態に復旧すること。

交換部品	クレモナロープ	60mm	10m	片アイ加工	2本
	クレモナロープ	45mm	15m	片アイ加工	1本
	シャックル (ASANO16 耳無し止めネジ付き)				10個

#### 第 8. 電線類取替工事 (陸電等)

浮棧橋内部、陸上との接続部、船との接続部、接続箱等の電源及び通信ケーブルを全て交換すること。ジョイントボックス、コネクタ等も交換し、漏電等無いように確認試験すること。不要になったケーブル等は適切に廃棄物処理すること。

第 9. 浮棧橋マスト改造工事

浮棧橋沖側の電灯用マストを、LED灯具が取り付けできるように改造すること。海鳥が止まって汚されないように対策すること。

第 10. 浮棧橋灯具取替工事

浮棧橋沖側の電灯を、LED灯具に交換すること。灯具に見合った電線、接続部に交換し、設置すること。

第 11. 吹き流し用マスト改造工事

吹き流し用のマストを300 mm 程度延長し、吹き流しが引っかかる現状を改善すること。

第 12. 浮棧橋ポール改造工事

甲板上ロープ取り用のポールを現状25 A から32 A に交換して取り付けること。強度、ロープの掛かり具合を監督員と確認すること。

第 13. ホース擦れ防止架台改造工事

門扉前に設置されている燃料ホース擦れ防止架台のローラー部を、200 mm 程度延長し、現状の不具合を改善すること。

第 14. 塗装工事用塗料

別紙のとおり。

別紙

塗装工事用塗料

エピコンジンクリッチプライマー	20 kg	10 缶
CMP AC	20 kg	22 缶
エポキシシンナー	16 L	10 缶
シーテンダー7 レッドブラウン	20 kg	10 缶
アクリ800 白	18 kg	5 缶
アクリ800 赤	4 kg	1 缶
アクリ800 青	4 kg	1 缶
アクリ800 黄	4 kg	1 缶
アクリ800 黒	4 kg	1 缶
アクリ800 緑	18 kg	7 缶
(ノンスリップデッキ用滑り止め剤0.6kg入)		
20 kg	10 缶	
アクリシンナー	16 L	10 缶
塗料用シンナー	16 L	4 缶
4号硅砂	25 kg	6 袋